

第43回高知県がん対策推進協議会 議事概要

1. 日時 令和7年10月14日(火) 18:30~20:15
2. 場所 県庁 第二応接室
3. 出席 委員20名中、20名が出席
4. 会長及び副会長選任 事務局から会長に小林 道也委員、副会長に吉川 清志委員を提案し、了承された。
5. 議事
 - (1) 第4期 高知県がん対策推進計画中間評価の進め方について
 - (2) 高知県がんポータルサイトについて
 - (3) 令和8年度医療機関がん診療体制調査項目(案)について
 - (4) 患者満足度等調査の結果概要について
 - (5) 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について

議事について県から説明し、意見交換を行った。(主な意見は下記のとおり)
議事については、すべて了承された。

※意見交換概要

- (1) 第4期高知県がん対策推進計画中間評価の進め方について
意見等 特になし
- (2) 高知県がんポータルサイトについて
委員から、「がん治療を受けられる医療機関」として掲載している医療機関が、標準治療を提供・実施しているかの確認が必要ではないかとの意見があった。
⇒ 各治療方法の定義等についてまとめた資料をお送りし、該当するものを回答いただくこととしていた。併せて、サイトへ掲載可と回答いただいた医療機関のみ掲載していたが、改めて医療機関に確認し、標準治療を行っていない場合は掲載しないこととする。
また、ポータルサイト(こうちがんサポネット)の開設をチラシ等で周知するだけでなく、各医療機関の相談窓口で実際にサイトを開いてもらえるような工夫が必要ではないかとの意見や、「こうちがんサポネット」の開設を県ホームページへ目立つように掲載する必要があるのではないかとの意見があり、事務局から、今後周知を強化していくとの回答があった。
- (3) 令和8年度医療機関がん診療体制調査項目(案)について
委員から、回答方法を「返信用封筒または電子メールでの送信」だけではなく、直接回答を入力できるシステムはないかとの意見があり、事務局から、県の電子申請システムがあるので、一時保存できるか等の利便性を確認したうえで検討したいとの回答があった。
また、調査項目について、薬物療法の内訳から分子標的療法を外している理由についての質問や、乳がん・前立腺がんは内分泌療法が一大勢力であるため、それを外すべきではないとの意見があり、事務局から、分子標的療法と内分泌療法も調査項目に含める、との回答があった。
- (4) 患者満足度等調査の結果概要について
委員から、がんサポートブックの周知について、「こうちがんサポネット」のトップページの一番下に掲載するだけでなく、上にあるバナーのところに掲載するのはどうかとの意見があり、事務局から、ご意見を踏まえバナー掲載もする、との回答があった。
また、就労支援について、高知県は中小企業が多いという特徴があり、人員不足等から仕事を継続しにくい状況があるとのご意見や、相談ができていない方へ医療スタッフからアウトリーチできるような体制づくりが必要との意見があった。
- (5) 2040年を見据えたがん医療提供体制の均てん化・集約化に係る基本的な考え方及び検討の進め方について
意見等 特になし

(以上)